

第 26 回 8/14/2013 テーマ 有棘細胞の腫瘍性病変

1. 65 歳 女性、左下腿に褐色病変 診断 脂漏性角化症 土井先生
2. 85 歳 男性、肩、汗孔角化症の診断のもと、経過観察となっていた。2012/5、びらん、隆起性病変が出現し、前医で生検され、SCC と診断。 稲葉先生
3. 66 歳 男性、1 年前には自覚なかったが、2013 年 1 月頃から触っていると徐々に左こめかみ部の結節が拡大してきた。ケラトアカントーマと最終診断。奥平先生
4. 86 歳 女性、平成 22 年頃より、前胸部に辺縁不整の紅斑あり。明らかな色調変化や増大傾向などは認めなかった。診断 ボーエン病。 岡先生。

第 27 回 9/25/2013 テーマ 悪性黒色腫 四型

4 症例

- ・ 69 歳 男性。20 歳代から左足底に小黒色斑があった。症状なく放置していたが徐々に範囲が拡大、色調変化が生じてきた。2012/11 ハサミで黒色斑を傷つけた所、出血が持続し赤色肉芽が生じてきた。悪性黒色腫 (ALM) 濱本先生
- ・ 64 歳 女性。約 2 年前より左乳房上内側部に褐色局面があり、徐々に黒色化してきた。悪性黒色腫 (SSM) 岡先生
- ・ 31 歳、女性。5、6 歳頃から背中に黒子あり。2013 年 2 月頃から拡大傾向あり、他院にて凍結治療を受け脱落した。5 月に再発。悪性黒色腫 (NM)。奥平先生
- ・ 69 歳、男性。幼少時の頭部の熱傷瘢痕に、2003 年有棘細胞癌が発生し、切除術を施行した。2007 年、2009 年に頬部に lentigo maligna が出現し、切除術を施行した。その後定期的に外来受診していた。2013 年 8 月当科受診時に右耳前部に濃淡を伴う辺縁不正な黒色斑の拡大を認め、生検の結果悪性黒色腫の診断にて手術目的で 2013 年 9 月入院となった。悪性黒色腫 (LMM) 国本先生。

第 28 回 12/11/2013 テーマ 血管系腫瘍

- ・ angiosarcoma 濱本先生
- ・ Pyogenic granuloma 土井先生

- ・ angioblastoma 奥平先生

第 29 回 2/19/2014 テーマ 血管病変

- ・ Hemangioma 国本先生
- ・ Leucocytoclastic vasculitis 三木田先生。アナフィラクトイド紫斑病 S/O であるが C3 のみ沈着
- ・ Leucocytoclastic vasculitis 奥平先生。IgA 血管炎？しかし 陰性。
- ・ 電撃性紫斑 上中先生

第 30 回 4/9/2014 テーマ 体幹メラノーマ

- ・ 77 歳、男性。 20 歳から。前胸部に米粒大の黒色斑から。 国本先生
- ・ 20 年前より左背部黒色斑。 稲葉先生。メラニン顆粒を漂白の有用性。
- ・ 左腰背部 表在拡大型黒色腫 安田先生。
一定期間表皮内増殖をした後に真皮内へ浸潤。
表皮は軽度肥厚。表皮全層にわたって、あたかも大型で明るい Paget 細胞様のメラノサイトが、個別性または大小の胞巣を形成して不規則に増加する。

ときに部分的消退現象を示唆する所見として、表皮が菲薄化し、真皮乳頭の著明な線維化およびメラノファージの増加が認められる。

- ・ 右側復部に黒色斑 手術創から数珠状に頭側に皮下腫瘍出現 表在拡大型黒色腫 奥平先生。